

『親方と神様』 伊集院 静 著 あすなろ書房 (分類:Fイ)

鋼と火だけを相手に人生の大半を過ごしてきた鍛冶職人・六郎の前に現れたのは、澄んだ瞳をした少年だった。少年の思いがけない申し出に、六郎は…。伊集院静の短編小説に、木内達朗のイラストを付す。



『茶聖』 伊東 潤 著 幻冬舎 (分類:Fイ)

茶の湯という一大文化を完成させ、天下人・豊臣秀吉の側近くに仕えた千利休。利休は何を目指し、何を企んでいたのか。その謎めいた心根と切腹の真相に迫る歴史大河ロマン。『山口新聞』等掲載を加筆・修正。



『今日も町の隅で』 小野寺 史宜 著 KADOKAWA (分類:Fオ)

バンドでリードギターを降格された悠太が初デートで訪れたのは、“ツリー”ではなく“タワー”だった…。「逆にタワー」ほか、それぞれの「選択」をする男女を描いた10編を収録。『小説すばる』掲載に書下ろしを加え書籍化。



『うちの父が運転をやめません』 垣谷 美雨 著 KADOKAWA (分類:Fカ)

高齢者ドライバーの事故を伝えるテレビニュースを見た雅志は、父親も78歳になることに気づく。不安になって、父親に運転をやめるよう説得を試みるが…。親の運転をきっかけに家族が新たな一歩を踏み出す、心温まる家族小説。



『三年長屋』 梶 よう子 著 KADOKAWA (分類:Fカ)

河童が祀られた通称「三年長屋」に住むものは、なぜか3年ほどで出世したり、良縁に恵まれたり…。長屋の差配と店子たちが織りなす奇蹟の物語。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものを加筆し単行本化。



『東京、はじまる』 門井 慶喜 著 文藝春秋 (分類: Fカ)

江戸を壊し“東京”を建てねば、この国はほろびる。江戸から東京へ、急速に近代化する街の形を決定づけた建築家・辰野金吾。今日につながる景色を創った男の野心と葛藤を描く。『別冊文藝春秋』連載を改題し単行本化。



『たおやかに輪をえがいて』 窪 美澄 著 中央公論新社 (分類: Fク)

風俗に通う夫、不実を隠した父、危険な恋愛に耽る娘。主婦・絵里子の穏やかな人生は、大切な人の〈秘め事〉で一変する。大きな虚無を抱えた彼女に再び命を吹き込むのは…? 『婦人公論』連載を単行本化。



『わかれ縁』 西條 奈加 著 文藝春秋 (分類: Fサ)

最低亭主から逃げた絵乃は、離縁の調停を得意とする公事宿「狸穴屋」の手代として働くことに。一筋縄ではいかない依頼を解決しながら、念願の離縁を果たすことができるのか!? 『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。



『〈銀の鯨亭〉の御挨拶』 小路 幸也 著 光文社 (分類: Fシ)

当主とその妻が焼死した高級料亭旅館〈銀の鯨亭〉で起きた火事。2人を助けようとした娘の文は怪我を負い、記憶を失う。だが現場には身元不明の焼死体が…。文の甥・光は刑事の磯貝と真相を追う。『小説宝石』連載を単行本化。



『帝都地下迷宮』 中山 七里 著 PHP 研究所 (分類: Fナ)

鉄道マニアの小日向は、ある日、廃駅となっている地下鉄銀座線萬世橋駅へと潜り込む。そこには政府の「ある事情」により地下空間で暮らす謎の集団が。さらに殺人事件が起こり…。『WEB 文蔵』連載を加筆し書籍化。



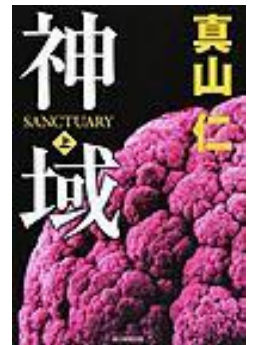
『流浪の大地』 本城 雅人 著 KADOKAWA (分類:Fホ)

大手ゼネコンに勤める新井は、日本初の統合型リゾート(IR)の工事責任者を任される。だがそこには政財界を巻き込む陰謀が渦巻いていて…。黒く塗りつぶされた工事資料の真実とは?『小説野性時代』連載を単行本化。



『神域 上・下』 真山 仁 著 毎日新聞出版 (分類:Fマ)

脳細胞を蘇らせる人工万能幹細胞が誕生。日本政府は一刻も早い実用化を迫る。しかし、本当に再生細胞は安全なのだろうか…。バイオ・ビジネスの光と闇を描く医療サスペンス。『サンデー毎日』連載を加筆し書籍化。



『丸の内魔法少女ミラクリーナ』 村田 沙耶香 著 KADOKAWA (分類:Fム)

36歳のOL・茅ヶ崎リナは、「魔法少女ミラクリーナ」に“変身”し、日々を乗り切っている。だが、親友の恋人と魔法少女ごっこをするはめになり…。リアル社会の欺瞞をえぐり出す短編集。『小説野性時代』掲載を加筆修正。



『嫁ぐ日 狸穴あいあい坂 4』 諸田 玲子 著 集英社 (分類:Fモ)

失意の中、麻布狸穴町の祖父宅に娘と出戻った結寿。初恋の人・八丁堀同心の妻木と再会し、彼女の心がふたたび動く…。恋と事件の連作時代小説。『小説すばる』掲載に書下ろしを加えて単行本化。



『あたしの拳が吼えるんだ』 山本 幸久 著 中央公論新社 (分類:Fヤ)

人間関係、恋愛、家庭、職場の不満…全部まとめて打つべし!ボクシングを始めた小学4年生の女の子を中心に人々が織りなす、元気を満タンにしてくれる、ハートウォーミング・ストーリー。『読売プレミアム』連載を加筆修正。



『祟り神 怪談飯屋古狸』 輪渡 颯介 著 講談社 (分類:Fワ)

幽霊話をすれば無代になる妖しい飯屋「古狸」に通う檜物職人修業中の虎太。盗賊の頭目「蝦蟇蛙の吉」たちに皆殺しにされ空き家となった店に忍び込み、行方知れずになった鶴七の謎を探るため、虎太はその建物に泊まり込むが…。



『綴る女 評伝・宮尾登美子』 林 真理子 著 中央公論新社 (分類:910 ミ)

「鬼龍院花子の生涯」「天璋院篤姫」…私たちが夢中にさせた「宮尾ワールド」は本当に存在したのか。昭和と平成を駆け抜けた国民的作家・宮尾登美子の横顔と、作品の秘密に迫る評伝。『婦人公論』連載を加筆修正して単行本化。



『晴れの日散歩』 角田 光代 著 オレンジページ (分類:914 カ)

京都の卵サンドのおいしさに震え、ドラマロスになり、レモンサワーをこよなく愛す…。角田光代が、年を重ねても変わらないかけがえのない日常を綴る。『オレンジページ』連載を再構成し単行本化。



『生きるための辞書』 北方 謙三 著 新潮社 (分類:914 キ)

歳月を経た今だからこそわかる、家族の情、友の痛み、旅の意味―。寿司屋の愉しみ方から、孫の育て方、友との別れ方まで、ユーモアと教養、男気に満ちた北方謙三の至言が満載。『週刊新潮』連載に加筆して単行本化。



新しく入った 児童図書・YA (3/25) 予約受付いたします！

『いちご』 荒井 真紀 さく 小学館 (分類:Eア)

いちごを食べると口の中でプチプチと音がします。いったい何の音でしょう？いちごの苗を植えて育ててみましょう。どんな風に葉っぱは生えていますか？絵本を見ながら自然観察をたのしめる一冊。(小学校低学年～)



『ごんべえだぬき』 川端 誠 作・絵 KADOKAWA (分類:Eカ)

山里のはずれに住んでいる、ごんべえさん。ある夜、表の戸を叩く音と、「ごんべえ、ごんべえ」と呼ぶ声がした。そっと戸に近づき、ガラッと開けると、子だぬきが転がり込んできて…。日本語の楽しさが詰まった落語絵本。(幼児～)



『いたずらのすきなけんちくか』

安藤 忠雄 原作／はた こうしろう 絵 小学館 (分類:Eハ)
2020年春オープンの、建築家・安藤忠雄が設計した大阪の「こども本の森 中之島」を舞台にした絵本。「本の森」を訪れた少年とちょっと変わったおじさんとの対話から、世界的建築家の創造力の秘密を解き明かす。(幼児～)



『てのひらに未来』 工藤 純子 作 くもん出版 (分類:913ク)

未来なんてあたりまえに来るって思ってたけどー。今だから考えたい平和のこと。中学生の琴葉と町工場で働く少年・天馬。ふたりはそれぞれの家族の物語を知り…。若いふたりの成長を描いた物語。(中学生～)



『日本のすがた2020 表とグラフでみる社会科資料集』

矢野恒太記念会 (分類:619ス)
最新のデータにもとづいて編集された社会科の資料集。日本の産業・経済・社会について、それぞれの分野の基本的な成り立ちや現在のすがたを、表やグラフを多用してわかりやすく説明する。(小学校中学年～)

